

## 助成事業実施報告書

団体名 自立援助ホーム あすなる荘

代表者・役職名 氏名 援助スタッフ 風巻 静佳

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

繋がりのための思い出作り事業

## 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

児童養護施設を中卒就労・高校中退等で退園したり、さまざまな事情で家庭にいられず自立しなければならない青年たちの相談にのり、生活の場を提供し、自活する力と知恵を養うための適切な援助をすることを目的に運営しています。当施設は1988年に設立され、児童養護施設「子供の家」とアフターケア相談所「ゆずりは」と共に連携して支援を行なっています。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

思い出作りにより、日常とは違う環境の中で思いっきり自分がやりたいと思っていることをやらせたいという思いから企画をしました。自分が好きなことをやり、その楽しさ、大切さを学び、仕事を通してその喜びを自分で実現しようとする力を期待して行ないました。また、困ったと思う時にその思い出を糧にし、あすなる荘に声をかけられる関係性を築きたいと考えています。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

数少ない行事の中で思い出作りの重要な役割となるのが宿泊行事であると考えていました。しかし、職員の事情により宿泊行事が難しい状況となった為、断念せざるを得ませんでした。また、9月にバーベキュー行事を行い、改めて年度末に宿泊行事を行なう予定でしたが、就労が安定しない寮生や退寮する寮生がいた為、こちらも実現することが難しい状況となりました。代わりに、ほぼ変わらないメンバーで一年を過ごし、高校を卒業した寮生もいたため、一年間の労いと卒業祝いを込めた横浜への外出行事を実施しました。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

宿泊行事を行なうことは叶いませんでしたが、職員と寮生全員での行事が実施できました。寮生と共に行事内容を相談しながら決めていくことで、「参加させられている」のではなく、「参加している」という感覚で行なえたと思います。しかし一方で、高年齢の寮生達にとって、施設職員や寮生達と集団で行動をすることは、恥ずかしさや面倒臭さがあるように感じました。車での外出、バーベキュー、ショッピングモール、レジャー施設、ピュッフェ等、初めての経験をした子や苦い思い出が楽しい思い出に塗り替えられる子もおり、あすなる荘の全員で同じ思い出ができたことはとても素敵な経験となりました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

日々の業務におわれて、なかなか行事の企画を進められないことが課題です。また、計画的に行事の時期を設定していても、寮生の様子や入退所が流動的なため、人数や状態の安定を見極めながら、行事内容や実施期間を設定しなければならないというのは課題と考えています。今後も寮生の状況を見極めながら、柔軟に企画を立てていきたいと思います。

## 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし